
就労支援

特別支援学校の立場から

平成31年2月12日
東京都立光明学園校長 田村康二郎

障害のある児童生徒の就労支援へ向けて ～ 肢体不自由特別支援学校を例に～

公立校として「小・中・高校」と同格
当然＜遠足・社会見学・進路指導＞も同様

しかし圧倒的な **「質と量」** の不足実感

そこで、工夫してみた事から得た提言

新たなアクセス「学校から社会へ」



大学探検／授業参加、施設
利用、インタビュー



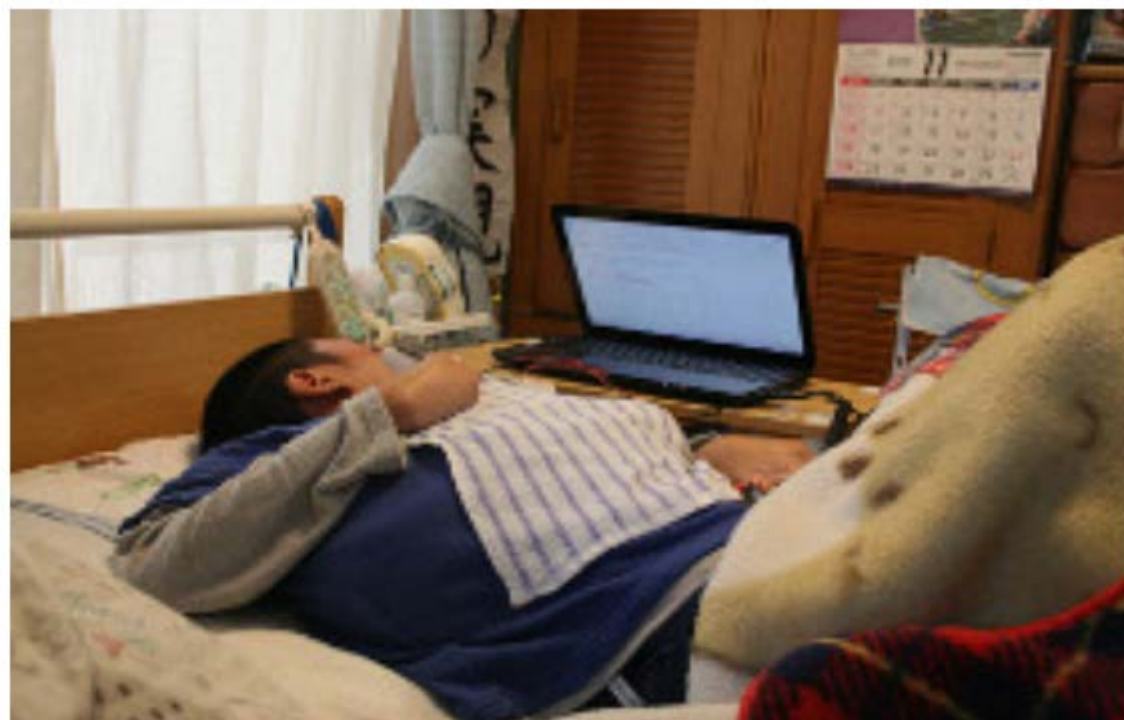
近隣小学校での教科学習へ
の合流参加

平成 22 年度特別支援学校におけるキャリア教育推進委員会
「肢体不自由特別支援学校キャリア教育推進委員会」報告書

新たなアクセス「社会を学校へ」



在宅社員による出前授業
／ IT 業務体験



在宅での現場（企業）実習

就 労 ・ 進 学 に 向 け た ア ク セ ス 機 会 +

- 多様な考え方にふれる**健全同年齢層と共に学習**へのアクセス機会+
- 社会への興味・関心を育てる学習へのアクセス機会+
- **少数の既卒者情報から将来イメージを固定化させない**ように、
自校卒業生にとどまらず、障害のある方の多様な社会参加の実像に
校内外でアクセスできる機会+（遠隔IT技術活用）
- 卒後に向けて、**職業と就職・進路と進学**の多様な**選択肢情報**へのア
クセス機会+

障害のある児童生徒の就労・進学に関する ICTアクセシビリティの向上策

- **地域・学校種・経済格差等に左右されないアクセス手段を**
- **障害種に応じたアクセス環境整備（ハード・ソフト+人的支援）**
- **PR・アト・ハイサー & コーティネーター機能の整備を**
- **多様な就労進学像を得られるICT上のデータベース整備を**
⇒ 仕事・職業・働き手、就労・進学の選択肢と到達方法